

夜間鼠齧畫軸因歎



狸奴睡熟窓月斜 群鼠出穴行如梭
主人無營但有畫烟霞四壁誇
豪奢嗟爾性點何無情放膽而齧偏求精
平時豈有嗜古癖藉茲飽
肢如珍烹山家雖貧厨有棗食我之餘我亦憎
何爲架上傷卷軸不獨
床頭倒瓶瑩却爾無刀逐無丸怒張倦眼徒相看
憑誰手捷拔爾鬚
使工製筆揮煙雲

應需

初春日偕同仙臺陶南歸水壺觀梅席上丁未年舊韻

仙臺林子平



夜間鼠齧畫軸因歎

狸奴睡熟窓月斜 群鼠出穴行如梭
主人無當但有画、烟霞四壁誇
豪奢、嗟尔性點何無情、放胆而齧偏求精
平時豈有嗜古癖、藉茲飽
腹如珍烹、山家雖貧厨有棗、食我之餘我不憎
何爲架上傷卷軸、不獨
床頭倒瓶瑩却爾無刀逐無丸、怒張倦眼徒相看
憑誰手捷拔爾鬚
使工製筆揮煙雲

應需

仙臺林子平

天 初春日偕同仙臺陶南歸水壺觀梅席上丁未年舊韻



下野布衣薄生薄實再拜頓首謹上書

執政寄田從四位閣下蓋聞之一治一亂自

古其必然自天地之剖分而神州有

天子之受天命焉而傳祚長久無有窮極

雖世有廢興道有浮沉而皇天代佐之以賢

宰良相不喪其神眾不墮其民命不昇其

國體本嘗有禽獸橫虐人類本嘗有吏豪戎

狄侵宦中土柰之何乃至於今可獨憲夫魯

西亞豺虎之暴於北邊哉是天下忘義懷戎

之士人人所以切齒扼腕而憤也自我

東照神祖之輔

王室靖天下之難而置祀夷府於江戶

率諸侯以鎮海內至於今二百年之治赫赫

其殿於是方有邊寇國始光光太熙黃賊生

在今日孰不蒙其德澤樂其太平苟有人

心而傾之卒其軍致身盡忠以報萬一凡有

謀略者祀嚴成以獻良策而凡有材武者蒙

矢石以建忠功焉凡其有財貨者舉家產以

資軍興焉夫然後天下之患可以除攘矣嗚

乎自弘安有蒙古之猖獗而邊五百年之

後今少復有大魯西亞之暴於北邊矣夫魯

西亞者不猶鑑蒙古膏溺其水軍十萬波濶

之怒乎神州凶大變之所全福

宗廟及山川百神百祀起烈風怒波濶而天

下忠義慷慨之士奮而作氣一可以敵百十

可以敵萬疋而有一捷當進兵走舟直衝穿

盧以斬其王晉其種而無噍類矣不然

宗廟及山川百神百祀有羞焉而天下忠義

慷慨之士固識之於數十年前而豫爲之備事

至而不怪衆人及其愛之始見形焉而畏怖

其鬼且以為几愛之起必先有其徵矣惟象

其徵不知所爲故言縱而造焉民亦乘以媒

禍此誠可畏也大今日之愛宗廟已見

其徵於明知處宣曰其秋七月夜戌刻北

方氣如赭須臾彌漫東西中有白氣數十道

森森上衝冒頭尼尖銳而其色紅濃乍淡參

- ・各展覧会図録中、作品名や作者、制作年などの表記は、図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し、本ファイルを改変、再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は、書籍と同様に出典を明記してください。また、図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は、宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお、図版を営利目的の販売品や広告、また個人的な目的等で使用することはできません。

志士たちの書画

三の丸尚蔵館展覧会図録 No. 18

編集 宮内庁三の丸尚蔵館

制作 株式会社 東京美術

翻訳 横溝廣子

発行 宮内庁

平成十年一月十日発行